

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 5月 9日

団体名 多世代ひろば にこにこあそびん

代表者 広瀬 朋美

構成員 7人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

赤ちゃんからお年寄りまでの幅広い人々が集い、悩みや喜び、様々な情報を共有することのできる場や趣味や得意なことを生かして活動することができる場を提供することで、いきいきと楽しく過ごし、ストレスや孤独感を軽減させることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
12/1	りぶら	応募者(ダンス) 地域住民	約300名	ダンスの発表会 マルシェ
月1回 (全10回)	悠紀の里	出店者 地域住民	延600名	マルシェ
月2回 (全23回)	悠紀の里	受講者	延460名	ダンス教室

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

12/1のダンスイベントマルシェ、月1回開催しているてしごとマルシェともに、出店しやすい料金に設定し、出店者さんが参加しやすいマルシェを開催した。初めてに近い出店者さんも多く、「初心者でも出やすくてよかった」との声が多かった。また、見守り託児があることで、来場者(小さな子どもがいる親御さん)の息抜きになるだけでなく、子連れの出店のハードルが下がるのでうれしいと言っていた。また、六ツ美南部地域にはダンス教室がなく、ダンスを始めたいというニーズに応えることができている。

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

てしごとマルシェ、ダンス教室を継続的に行うことができた。もっと幅広い世代の人が参加できるイベントや教室を開催していきたい。前年度からの課題でもあったが、悠紀の里以外での活動について、まだまだではあるが、りぶらで1回活動をすることができてよかった。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。